

教育臨床心理実践センターだより

教育臨床心理実践センター発行
2017年9月 第19号

教育臨床心理実践センター主催 公開講演会

「ここからみらいへ！」

— 清明高等学校の取組の概要 — 報告

8月1日(火)16時~18時、附属教育実践センター機構棟1階・教育臨床心理実践センター教育臨床実習室において、山岡弘高先生(京都府立清明高等学校長)をお迎えし、清明高等学校の役割や実践についての理解を深めました。

京都府立清明高等学校は「昼間二部制・単位制・普通科」という京都にはこれまでない全く新しいタイプの高校として、平成27年4月に開校されました。基本コンセプトには「学びアンダンテ」というイタリア語を用いた評語を掲げ、生徒が自分のペースで、ゆっくり・じっくり・しっかり学習し、自己の成長を実感できる教育を推進しています。ちなみに「アンダンテ」はイタリア語で「歩くような速さで」を意味する言葉だそうです。

清明高等学校では3年以上在籍し74単位以上修得すれば卒業が可能となるため、一人ひとりの生徒に合った授業履修を組むことができる自由度の高い教育システムが構成されています。そのため個人の時間を制限せず、生徒のあらゆるニーズに応えることを可能にしているのも魅力の一つであるそうです。

生徒の約6割が小・中学校での不登校経験を有し、約2割は発達障害等の特性を持っているそうですが、自分の夢ややりたいことを明確に持って清明高等学校を選ぶ生徒もおり学校は活気に満ちているそうです。

またこの3年間で生徒数も増え、現在は定時制の持つイメージに反して、生徒たちは挨拶をしっかりと、年中行事でもハキハキと活動に励み、とても明るい雰囲気であると話いただきました。



(京都府立清明高等学校長 山岡弘高先生)

次に、力を入れている「教育相談体制」「ICT教育」「社会的自立支援プログラム『みらい』」「学生ボランティア」の4つについてお話しいただきました。5名のスクールカウンセラーが曜日により交代で勤務していること、生徒一人に1台タブレット端末が与えられ、最先端ICT教育が実施されていること、生徒の自尊感情を高めつつ社会の中でたくましく生きるスキルを学ぶ取り組みの実施、教師との意思疎通を量りにくい生徒の支援者としての学生ボランティア導入といった実践を紹介していただきました。

最後に山岡弘高校長の信念である『笑顔をつづけていきたい』という言葉で講演会を締めくくっていただきました。

先生からのお話が終わった後には、他の定時制高校にも実践可能なこと、経済的問題を抱える家庭の生徒の入学や生徒の社会的場面における適応度など多岐に渡る質問にも丁寧にお答えいただき、大変実り多い講演会となりました。

附属学校スクールカウンセラーから – 附属京都小中学校 –

四季折々姿を変えるカウンセリングルーム前の大きな桜の木に見守られながら、附属京都小中学校でのスクールカウンセラーとしての活動も早いもので7年目となりました。

7年目を迎えて感じることは、教職員の方々と連携する機会が広がってきたということです。個別の連携だけでなく、ケース会議への参加など、チームでの連携という形も取れるようになってきました。また、育友会が発行する広報誌でも昨年度末に大きくスクールカウンセラーを取り上げていただき、保護者の方々の期待も感じました。

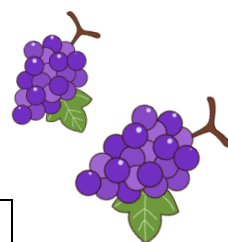
附属学校は公立学校と違って、その学校を支える地域というものがありません。それゆえ、保護者の方々が連携をとって学校を支えるという意識が強くあるように感じますし、育友会組織がある意味地域の役割を果たしているのだなとも感じます。思い返せば、配置された初年度にスクールカウンセラーに真っ先に興味を持ってくださったのも、育友会の方々でした。不安でいっぱいだったときにとても心強く思ったことを今でも覚えています。

附属京都小中学校はこの春から義務教育学校として新たなスタートを切りました。今後も教職員の方々、保護者の方々との連携を大切にしながら、スクールカウンセラーとして9年制の義務教育学校の中でどのような役割を果たせるのかも念頭に置きつつ、日々の活動に臨みたいと思います。(荒井久美子)

心理教育相談室について

平成29年度 相談件数(4月～7月)

	4月	5月	6月	7月
実相談件数	37	34	35	34
延べ相談件数	58	49	55	50



個人・家族・学校などの悩みや困った問題について心理的援助を行っています。まずは電話にて、お気軽にご連絡ください。

電話番号 075-644-8824 (月曜～金曜、午前10時～午後4時)



教育臨床心理実践センター・スタッフ

専任教員(センター長) 教授 本間友巳 非常勤カウンセラー 岩井秀世(月曜)
兼任教員 教授 森孝宏 教授 内田利広 教授 小松貴弘 准教授 西村佐彩子
相談補佐員 荒井久美子(月・火曜) 金子真理子(水曜) 與那嶺のどか(木曜) 馬場貴美代(金曜)